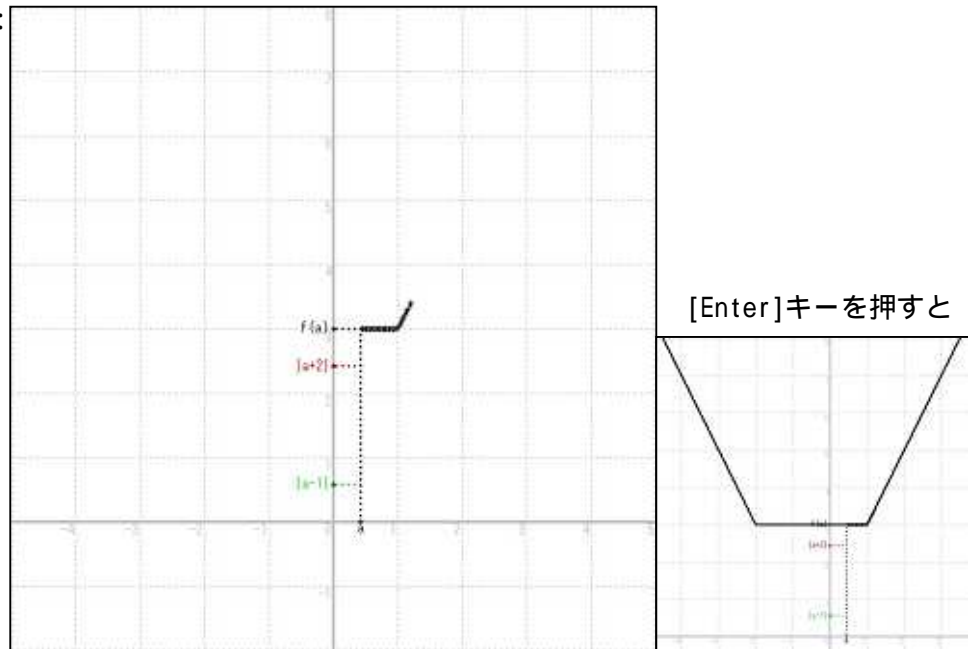


「S1p032MN06.bas」

1. ファイル名 : Jis Full BASIC
ユーザープログラム 「S1p032MN06.bas」
2. 対応分野 : 数研出版 数学 p32 問題(絶対値の応用)
6. a が次の値をとるとき, $|a-1|+|a+2|$ の値を求めよ。
(1) 3 (2) 0 (3) -1 (4) -5
3. 実行 : Jis Full BASIC 起動後, 「開く」 「実行」と操作すると
(1) $a=1.2$ (初期値) のとき, $|a-1|$, $|a+2|$, $f(a)=|a-1|+|a+2|$ の値が図示される。
4. 操作 :



- (1) [] [] キーで図の a を左右に移動させることができる。
- (2) [Enter] キーで作業を終了し, グラフを表示する。
5. 目的 :
- (1) 実数 a に対して, $|a-1|$ と $|a+2|$ の値および $f(a)=|a-1|+|a+2|$ の値を視覚的に理解させる。
- (2) 特に, $-2 < a < 1$ において $f(a)=3$ と一定であることを視覚的に理解させる。
6. 利用時期 :
- (1) 問題演習後
この問題6では, a に $6, 0, -1, -5$ を代入して, $f(a)=|a-1|+|a+2|$ の値を求めるものである。 a の値に応じて, $f(a)$ を a の式で表す場合分けの際に, 提示してみてもどうか。
- (2) 場合分けの指導について
 $|a-1|$ に関して $a=1$ が, $|a+2|$ に関して $a=-2$ がキーになることは, 比較的容易に生徒は答えることができる。実軸という1本の直線を -2 と 1 の2箇所で見ると,
「(ア) $a < -2$ (イ) $-2 < a < 1$ (ウ) $1 < a$ 」
と3つの部分に分かれるという考えから, 場合分けを指導してはどうか。